



Reitaku Overseas Development Association

# RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和6年  
(2024)  
3月15日

第35号

第21巻第2号  
年2回発行

## 主な記事

## 巻頭 Be a Bridge!

ネパールで環境・衛生啓発活動を行う

## 報告 モラロジー道徳教育財団と共催のスタディツアー

その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953

<https://www.reitaku.or.jp/>

発行人・濱島直隆／編集人・横山守男

## —— 麗澤大学 学生団体 Be a Bridge! ——

## ネパールの学校での環境・衛生啓発活動を行う

令和6年1月31日から2月7日にかけて、麗澤大学の学生団体 Be a Bridge! は、5名のメンバーで第10回ネパール渡航を実施し、ネパールの首都カトマンズ近郊の小中一貫校の環境・衛生啓発活動を行いました。今回もイッチャングナラヤン学校とユバ学校を訪れ、前回の渡航で課題となった文房具や備品の寄付、ゴミ処理問題の改善授業等を中心に実施しました。

### ネパールの小学校へ理科室の備品を寄贈

令和5年6月4日、モラロジー道徳教育財団・廣池学園のイベント「伝統の日」での募金活動に参加しました。その際に、ネパールの子供たちに向けての募金を行い、約11万円の寄付が集まりました。この寄付により、理科室の備品すべてを1年間で揃えることに成功し、イッチャングナラヤン学校の理科室備品の寄贈に活用させていただきました。募金をしてくださった皆様、ありがとうございました。

贈呈セレモニーでの  
Be a Bridge!の代表挨拶

そのイッチャングナラヤン学校には、2日間訪れました。学校は山の中にあり、急な斜面も多く、車がないと行きにくい場所にあります。子供たちは、日本では考えられないような場所にある学校に通いながらも元気いっぱい、私たちを温かく迎えてくれました。

イッチャングナラヤン学校は、カトマンズ近郊の学校に比べて全体的に支援が行き届いていない学校だと私たちは感じていました。停電は定期的に起き、大きな教室にはプロジェクターが設置されていますが、それ以外の教室にはありませんでした。また、給食はないので、子供たちは昼休みになるとお弁当を食べたり、山を下りて食べ物を買に行ったりしていました。

私たちの以前の渡航の際に、学校側から「理科室はあるものの、そこでの備品がないために寄付をお願いしたい」との話を伺っていました。今回、皆様から寄付を頂いたことで、その理科室の備品寄贈が実現できました。私たちが学校を訪問したとき、その寄付で購入した多くの器具や装置を見て驚き、感激しました。子供たちも興味津々でのぞきにきていました。

今までは実験を利用した細かな授業を十分にできていなかったと思いますが、備品が揃ったことで子供たちの興味や関心がよりいっそう広がることと期待しています。子供たちの教育環境を向上させることは、将来の可能性を拡大し、さらなる地域の発展に寄与すると考えられます。学校に出向くと、生徒全員が校庭に集められ、授業の開始前にセレモニーを開催してくださいました。

今までは実験を利用した細かな授業を十分にできていなかったと思いますが、備品が揃ったことで子供たちの興味や関心がよりいっそう広がることと期待しています。子供たちの教育環境を向上させることは、将来の可能性を拡大し、さらなる地域の発展に寄与すると考えられます。学校に出向くと、生徒全員が校庭に集められ、授業の開始前にセレモニーを開催してくださいました。

メンバーの名前が刻まれた  
記念品を頂きました

その備品の贈呈セレモニーでは、私たちのメンバーの名前が刻まれた記念品を感謝の印として頂き、私たちが想定した以上に喜んでいただいていることが伝わりました。子供たちがより楽しく分かりやすく理科を学ぶ機会を与えることができ、私たちにとっても大きな喜びとなりました。

## ゴミについての授業を行う



リサイクルのワークショップ

内容は「ゴミのポイ捨てをするとどうなるか」と「ゴミの分別の方法とリサイクル」についてです。スライドを見せながら、イラストやクイズを用いて分かりやすく興味を持てるような授業になるように努めました。また授業の中で、リサイクルの意識を高めるために、実際のゴミを使ってのワークショップを行いました。身近なゴミで楽しく工作ができ、子供たちも楽しんでくれていました。私たちの授業を通して、今のネパールの街の環境について少しでも意識を向けてくれることができたらうれしく思います。

今回も、子供たちに向けて対面授業を行いました。授業内容は「ゴミのポイ捨て」についてです。ネパールでは、この一年で街中のゴミがとても少なくなっていますが、それでもまだ多いのが現状です。そこで未来を担う子供たちに、ゴミについての授業を行いました。

ゴミの分別の授業は昨年も実施したのですが、カウンターパートを通して「分別に対する国の政策は始まったばかりだ」と聞きました。そのため、観光地では可燃ゴミと不燃ゴミで分別するためのゴミ箱は見受けられるものの、学校や自宅では分別を行っていないとのことでした。また、ネパールではリサイクルするという習慣もないことから、ゴミのリサイクルについても学んでほしいと感じました。これらの理由から、今回の渡航でもゴミ分別やリサイクルの授業に力を入れ、さらに詳しい知識や学びを得てほしいと考えました。



授業後にみんなと一緒に記念写真

## 日本文化を紹介



日本文化紹介の紙飛行機作り

両校においては、日本語紹介を授業に組み入れ、簡単な日本語を覚えてもらいました。彼らが普段話しているネパール語とは発音が異なる言葉が多く、苦戦している子も見られましたが、別れ際には教えた日本語を使って一生懸命話しかけてくれました。また、日本語紹介のほかに、日本についてのクイズも行いました。ユニークなものから身近なものまで問題を出しました。加えて、日本文化の紹介として折り紙で紙飛行機を作ったり、日本語を用いた伝言ゲームをしたりしました。これらの授業を通して日本に興味を持ってくれたことが伝わり、私たちは大きなやりがいを感じました。(Be a Bridge!代表・江原夏生)

今回は、イッチャングナラヤン学校とユバ学校の2校を訪問しました。両校には、麗澤大学構内で募集した文房具を寄付しました。募集した期間は2週間ほどだったにもかかわらず、たくさんの文房具の寄付が集まり、子供たちの勉強に貢献できたと思います。

私たちの日常では、インクの無くなったペンは取り替えずに処分し、筆箱の中にはたくさんの文房具を収納して、授業や場面に応じてシャープペンシルやカラーペンを使い分けてノートにメモを取っています。しかしネパールの学生は、私たちのように筆箱にカラーペンやマッキーペン、定規やのりが入っているわけではありません。一つの鉛筆を大切に使い続けている子供たちを見て、私たちは日本の学生が使っていない文房具を集めて、定期的に寄付する必要があると感じました。



日本についてのクイズも行いました

## — すべての子供たちに教育の機会を — 第1回タイ・スタディツアーを モラロジー道徳教育財団と共催

麗澤海外開発協会は、令和5年12月22日から29日までの日程で、公益財団法人モラロジー道徳教育財団との共催の第1回タイ・スタディツアーを実施しました。参加者は麗澤高校生9名、大学生2名、社会人4名の計15名でした。

### ミャンマー人の子供たちへの教育現場を視察

一行はまず首都バンコクに到着。経済発展著しいバンコクは、「その繁栄の裏に世界一の格差がある」といわれています。現在でも約2,000か所のスラムが存在し、そこで暮らす子供たちは十分な教育を受けられない状況にあります。

バンコクのオンヌット64小路にあるスラムには、バンコク中から集められたゴミが集積し、そのゴミの仕分けの仕事のために、多くのミャンマー人が国境を越えて住んでいます。そして、タイ政府も経済発展を支える労働力として、その就労を黙認しています。問題は、その子供たちはタイ語が分からず、タイの公立小学校に通うことができないことです。このスラムにはJILAF (Japan International Labour Foundation-Thailand) が教育支援事業を実施し、麗澤海外開発協会は2020年度からこの事業を支援しています。

この日、一行はミャンマー人の子供たちにタイ語を教える「モバイルラーニングセンター」を視察しました。教室はゴミ処理施設の一画にあり、柱が折れ曲がったわずか8坪ほどの部屋で、18人の子供がタイの小学校に通える程度の語学を身につけるべくタイ語を懸命に学んでいました。恵まれた環境の中で学ぶ日本の高校生や大学生にとって、過酷な環境の中でも「学びたい」と勉学に励む子供たちの姿が印象に残りました。

### メーコック財団でボランティア作業

タイ滞在3日目の12月24日、一行はバンコクを離れ、ミャンマーとラオスに隣接するチェンライ県にあるメーコック財団を訪問。もともとメーコック財団は1992年に設立され、山岳民族を対象とした麻薬患者の治療とリハビリ、職業訓練を実施し、2000年からは麻薬患者の親を持つ子供や教育を受けられない子供たちを受け入れ、教育支援をしてきました。現在は4歳から19歳まで21人の子供たちがこの財団で集団生活をし、学校に通っています。麗澤海外開発協会では、同財団の設立当初からその活動を支援してきました。

一行はメーコック財団内の環境整備のボランティア活動にも参加。午前中の約3時間、敷地内にある教会の外壁と内壁をペンキで塗り直すという大きな仕事に心を添えて作業をしたところ、教会は見違えるほど綺麗になりました。

日本を離れ、タイでの教育事情を視察したこの8日間は、参加者にとって世界の中の日本について考えることもできた貴重な機会となりました。



ミャンマー人の子供たちがタイ語を学ぶ教室



メーコック財団にて



教会整備のボランティア

## たくさんのご支援、ありがとうございます

〈令和5年4月1日～令和6年2月29日〉掲載に同意された方をご紹介します。(順不同)

### ■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、株式会社ピアかざりや、新井秀啓、内田八代、長谷和治、竹原茂、土谷和光、横山守男、渡辺康博、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、大谷誠之、村瀬泰比古、山本浩、横山印刷株式会社、今井收、長谷篤治、山田雅雄、佐藤薬品工業株式会社、松本哲洋、小西直之、古川定邑、小野剛、藤村薫、俣野幸昭、桑島義智、梅村元成、和田悦治、井上源一、堀内一史、増田一江、水田恵一郎、小林雅純、永治達彦、古川益二、濱井利一、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、長谷真千子、有限会社弘明堂、須見好和、松岡孝稔、木津孝道、風澤俊夫、岸上肇、菅間正則、井川好長、岩田英志、横山明弘、黒白常光、菅澤運一、大山圭子、田中一宏、田中聖則、北川治男、鈴木貞夫、小西正純、森口真美、淡島成高、長谷享治、鈴木孝明、青木久子、河村満、杉山直、世田谷モラロジー事務所、結城保、赤松良平、田口英樹、富士俊隆、能勢千晴、佐久間三郎、福代明正、濱島直隆、北澤泰子、神永正男、井上景介、上萩洋三、田中孝夫、出羽茜、田中裕子、我孫子利和、藤田和広、廣池加津子、黒須里美、中島甲子生、和田淳司、長谷愛子、吉山八郎、村田ボーリング技研株式会社、山口保安工業有限会社、株式会社三国一、川越・富士見モラロジー事務所、小松島モラロジー事務所、和歌山モラロジー事務所、焼津モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、岸和田モラロジー事務所、栃木市モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、東京港モラロジー事務所、加古川モラロジー事務所、上総モラロジー事務所、盛岡モラロジー事務所、中野モラロジー事務所、恵那モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所

### ■準会費

俣野貴昭、尾崎哲子、中地駿輔、杉山蒼真、石川理彩、畑山里菜

### ■一般寄付金

廣池幹堂、山口明、長谷和治、渡辺康博、横山守男、杉浦廣道、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、山崎純雄、和田悦治、太田徳昭、濱井利一、大住敬一、福井博康、井上照悟、松岡孝稔、木崎重安、横山明弘、澤政利、藤尾佑男、杉山雄彦、三浦順治、山田武司、森田政見、杉原善衛、青木久子、飯島孝夫、福代明正、上萩洋三、出口孝信、麻野純一、石井啓治、市ノ渡廣志、井上貢一、今安優、笠田環嗣、笠原伸泰、加藤芳彦、神田茂、北敬子、橋高重久、合田孝一、雑賀正光、佐久間八重子、澤田修一、島崎執、関俊章、高坂賢吉、千葉静子、加藤やよい、増田顕次郎、三上ハツミ、御代川克之、寺坂富俊、内藤富博、長井孝介、西村忠雄、西村秀喜、野中康弘、橋本皇子、前島義人、三浦洋嗣、光安輝雄、千代田モラロジー事務所、福井東モラロジー事務所、株式会社三国一、三信株式会社、株式会社小松製菓、京都伏見区モラロジー事務所、美津島モラロジー事務所、山口保安工業有限会社、株式会社ダイキョープラザ、小松能美モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所、野田ミート株式会社、四日市西部モラロジー事務所、大和葛城モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、有限会社弘明堂、宮城県北部モラロジー事務所、廣池学園モラロジー事務所、静岡市葵モラロジー事務所、近江湖西モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、飯南モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、大阪住吉モラロジー事務所、京丹後モラロジー事務所、石井モラロジー事務所、香椎モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、那賀川モラロジー事務所、茨木モラロジー事務所、米子モラロジー事務所、名古屋東モラロジー事務所、有田モラロジー事務所、堺北モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所、坂井モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、今治モラロジー事務所、小樽モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、流山モラロジー事務所、南陽モラロジー事務所、新潟モラロジー事務所、尾西モラロジー事務所、北総モラロジー事務所、吉賀モラロジー事務所

### ■竹原基金

廣池幹堂、山口明、長谷和治、竹原茂、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、濱井利一、福井博康、桑島朋子、松岡孝稔、森田政見、八代京子、青木久子、山田莊一、飯島孝夫、藤田和広、野瀬昌彦、ウィクラマラタナ・ドミンダ、片山道則、加藤信次、桑島祥子、小林一正、鈴木洋子、内藤富博、長井孝介、長谷川卓司、広瀬正雄、三浦洋嗣、出羽茜、今安優、山本浩、支援キルトの会ふーぷ、山口保安工業有限会社、麗澤大学プアンサークル同窓会、株式会社めこん、大垣モラロジー事務所、恵那モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所

《会員・寄付金・竹原基金を募集しています》

麗澤海外開発協会は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。会員等での入会と寄付金・竹原基金にご支援いただきますようお願い申し上げます。

種 類	年 額
会 費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準 会 員	1口2千円(1口以上)
寄 付 金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人

麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

T E L : 04-7173-3165

F A X : 04-7173-8953

E-mail : [kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp](mailto:kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp)

HP : <https://www.reitaku.or.jp/>



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。